♥恭子さんのあれこれ♥

都会と田舎の違いアレコレ

移住から2年、様々な違いを発見してきました。
“違いがある”ということで、どちらが良い悪いではないのですが、面白いですね。少し増えた気がするので、シェアしたいと思います。
ここでいう都会は、、、大阪府内です😆

違い その① セミの鳴き声が違う！

都会ではセミの鳴き声は、大音量で、騒音レベルです。こちらではセミの鳴き声にストレスを感じていない！という事実に、つい最近（笑）氣づきました！セミがとまる木は明らかにこちらの方が多いのに、、、なぜ？かと思ったら、どうやら出演するセミの種構成がが違うらしいです。
控え目な性格のセミ。 これは人にも共通すること・・・かも⁉

違い その② お水は、買わない。飲まない。😳⁉

都会ではお水は買うもの！！！なぜならば水道水から出るお水が不味いのです😭田舎、特に中山間部では、お水が美味しい！水道から出るお水を浄水器を通したり、沸かすことはあっても、買うことは減りました。
ただ、、、もひとつビックリしたのは、お水は飲まない！という事実🤣
皆様、お茶を召し上がるんですね。フランス人がワインを飲む感覚⁉

違い その③ それメルカリ？それとも蔵入り？

都会では使わなくなったものは、すぐ手離します。できるだけ余分なものは持ちたくない傾向があります。メルカリやジモティで断捨離！次に使う人にリレーして入れ替える人が多いです。土地が狭くて、車庫代で田舎の家１軒借りれるくらいですからね(笑) 田舎では蔵や倉庫があって、そこに大切に保管されるとか！ついつい『売ったらええやん』って言ってしまって、『ちゃうねん。大切に保管せなあかんねん』って言われます（笑）

田舎のえきの２階では、
移動カフェきなり はなれ＋を
定期開催しています。

次回は8/21(木) 10時から
今回は、健康相談カフェ！

博要に昨年移住してきた　心と身体づくりの専門家　八木かな子さんが代表をつとめる“シロヤギ堂“さんと、コーヒー片手に談笑しながら、健康相談会を開催！色々聞いたり、情報交換してみましょう！

はくよう

広報第281号（2025.8.1）

博要住民自治協議会広報部
博要地区市民センター内

美し国みえ　移住相談会

7月12日(土)、大阪で三重県主催の移住相談会が開催され、当地域から地域おこし協力隊の吉田さんが参加しました。相談に来られた5組に博要地区の良さをアピールしたところ、2組が宿泊体験を希望されています。
まだ、日程や内容は未定ですが、地域の皆様には温かくお迎えいただきますよう、ご協力をお願いします。

伊賀市議会議員との懇談会

7月15日(火)、伊賀市議会議員との意見交換会を開催しました。

森中議員・宮崎議員・内原議員・山口議員が来られ、①移住促進の地域の取り組みと行政の支援について②獣害対策の２つのテーマで話し合いました。地域が直面している問題を議員方々と熱心に話し合い、活発な意見が出ました。

健康･栄養･介護教室

7月18日(金)、青山文化センターにて、三重県地域活動栄養士連絡協議会伊賀支部より栄養士の森本恵利子さんを講師に迎え、健康・栄養・介護教室を開催しました。『熱中症予防のための食生活』と題した、暑さに負けない体づくりをするために、1日3食きちんと食べる、こまめに水分補給するなど、普段の食生活の大切さのお話を聞かせていただきました。

調理では夏野菜と魚を使った4品を作り、参加した24名は、夏らしいあっさりしたお料理を美味しくいただきました。

献　立
★ゆで鮭のおろし添え
★高野豆腐と小松菜のミルク煮
★夏野菜の焼き付け
★フルーツ寒天

草木染め体験

7月27日(日)、草木染め体験を開催しました。今回は、事前に縫った木綿の巾着を桜の枝を煮出したもので染めました。参加者18名は、ビー玉・割り箸・輪ゴムなどを使ってイメージした柄が出来るよう縛りました。地域外の方の参加もあり、染め時間の合間にコーヒーを飲みながら楽しい時間を過ごしました。

柄は少々出にくかったですが、素朴でやさしい淡いさくら色に染まりました。

夏祭り実行委員会

8月16日(土)に開催する「博要地区納涼夏祭り2025」の実行委員会を開催し、祭りの内容や役割分担などを話し合いました。

今年も皆様に楽しんでいただけるよう、ステージ・屋台イベントなどを用意し、ご来場をお待ちしております。

8月は、食中毒防止の為、配食サービスはありません

益々暑くなってきますので、日中は外出を控え、無理せず休み、
十分な水分と休息を取りましょう。

◇今後の予定◇

8/10(日)	13：30～	博要ブランド米販売に関する説明会	博要地区市民センター大会議室
8/16(土)	8：00～	博要コミュニティ広場周辺 除草作業	市民センター周辺及び コミュニティ広場
	14：00～	田舎のえき はくようTERAS(照らす)/きなりはなれ＋(プラス)	博要地区市民センター大会議室
	18：00～	博要地区納涼夏祭り2025 （実行委員は17時集合）	博要の丘グラウンド及び市民センター周辺
8/17(日)	10：00～ 14：00～ 17：00～	hakuyoga（ハクヨガ）	川上ダム
8/20(水)	19：30～	人権講演会	博要地区市民センター大会議室
8/21(木)	10：00～ 15:00	移動カフェきなりはなれ＋(プラス)	萩田さん宅はなれ2階
8/22(金)	10：30～ 13：00～ 15：00～	博要の丘撮影会 ＆ドローン撮影体験会	博要の丘周辺
8/24(日)	14：00～	老川ほっこりサロン	青山文化センター
8/26(火)	19：30～	本部役員会議	博要地区市民センター小会議室

むらBEATに聞いてみた

今回は、老川にお住まいの長谷川実希（みき）さんにお話を伺いました。長谷川さんは、お仕事の傍ら趣味で『ガムラン』というインドネシアの民族音楽の演奏をされています。『ガムラン』は大・中・小のさまざまな銅鑼（どら）や鍵盤打楽器を使って演奏します。長谷川さんは、演奏グループの一員として、各地でコンサートにも参加されています。

老川に住むようになったきっかけは？

大阪出身の長谷川さんは、田舎暮らしに憧れ、双子のお姉さんとともに奈良県御杖村で暮らしておられました。

１０年程前、ご主人と出会って結婚されることになり、元々はご主人の祖母が住んでいた老川のお宅に住まわれることになったそうです。

民族楽器との出会い

30年程前、バリ島の民族舞踊を習っていたお姉さんに「民族楽器をやらないか」と誘われたのがきっかけで、楽器の魅力にはまり、現在まで続いているそうです。バリ島ではヒンドゥー教の神々に演奏と舞踊を捧げるとともに、島民にも楽しんでもらうための音楽だそうです。

『ガムラン』には楽譜が無く、耳と体感でメロディを習得しなければなりません。そのため、演奏を始めた当初は、バリ島まで何度も足を運んで練習を重ねたそうです。それぞれの音色が違う楽器を合わせて演奏して、ひとつの曲が出来上がるそうです。演奏形態としては『グンデル・ワヤン』という影絵芝居を組み合せて2～4人で行う演奏と、『ゴングビャール』という15人くらいでオーケストラのような演奏があるそうです。

長谷川さんは『スニュム・スニュム』というグループに所属し、大阪府門真市まで月2～3回の練習に行っています。ご主人も大変協力的で、欠員が出た時には演奏会に出演することもあるそうです。

地域の印象は？

水がきれいで静か、空がきれい、涼しく生活しやすいと満足しておられます。打楽器練習も気兼ねなく演奏しているそうです。

これからの活動

演奏者をもっと増やして大きな楽団にし、沢山の人に聞いてもらい、知ってもらうため、意欲的に活動していきたいそうです。興味のあるかたは一度お話を聞いてみてはいかがですか？

長谷川実希さん、取材を受けて頂きありがとうございました。とても気さくな方で、目を輝かせて明るくお話をされていました。これからも博要地区のイベントなどで地域の方々と交流をしていただき、機会があれば演奏を聞かせていただきたいと思います。